

高等学校 令和7年度（2学年用）

国語現代の国語

教科：国語科目：現代の国語

単位数：1単位

対象学年組：第2学年組～組

教科担当者：（組：松井武士）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（大修館書店 新編 現代の国語）

教科国語の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目現代の国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	9 他者を動かす 【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえさせ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりすることを意識させる。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、場の状況に応じて資料や適切な方法を選択させ、相手の心を動かすべく表現を工夫させる。 ・「読むこと」において、筆者の論理展開を具体的に追いかける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発表のモチベーションを上げさせるとともに、評価的な声掛けにより、他者への敬意も身に付けさせる。	・指導事項：・文章の内容把握 ・意見発表および聞き取り ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、場の状況に応じて資料や適切な方法を用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫している。 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	9 他者を動かす 【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえさせ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりすることを意識させる。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、場の状況に応じて資料や適切な方法を選択させ、相手の心を動かすべく表現を工夫させる。 ・「読むこと」において、筆者の論理展開を具体的に追いかける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発表のモチベーションを上げさせるとともに、評価的な声掛けにより、他者への敬意も身に付けさせる。	・指導事項：・文章の内容把握 ・パソコン利用によるプレゼン ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、場の状況に応じて資料や適切な方法を用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫している。 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教科： 地歴 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： 播正 圭史

使用教科書： （ 高校生の地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院） ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 地球儀やさまざまな図法の地図から、現代世界の姿を読み取らせる。 地図と地理情報システム（GIS）には、それぞれどのような役割や有用性があるのか理解させる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 2章 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 国家の領域と国境はどのように定められ、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのか理解させる。 現代世界を表したさまざまな地図から、人やモノ、情報の結びつきを読み取ることができるようにする。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
	定期考查			○	○	○	1

2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考・判断・表現】 地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 世界各地の特色ある生活文化について、その背景にある自然環境や社会環境に着目し、テーマごとに考察させる。 世界各地にみられる地形は、人々の生活とどのように関わっているのか理解させる。 気候の違いが、人々の生活にどのような影響を与えているのか理解させる。 産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのか理解させる。 宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのか理解させる。 世界各地の特色ある生活文化を考察するにあたって、まず日本の生活文化における世界と共通点・相違点に着目する。そして、自然環境、産業、宗教・歴史、結びつきの各テーマから一つずつ事例を選んで学習する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1
事例学習【自然環境】 乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 -中央アジア・西アジア・北アフリカ- 【知識・技能】 気候・風土が深く関係して、ある地域の生活と文化とその特徴が形成されることを理解する。 気候・風土と深く関係しながら広まった宗教が、人々の暮らしに根づき、影響を与えていることを理解する。 豊かな資源によって人々の生活が変化してきたことについて理解する。 【思考・判断・表現】 古くから栄えた文明に着目しながら、乾燥地域ならではの生活や産業がどのように成立し、工夫しながら発展してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 他宗教との共存に着目しながら、乾燥地域に発祥した複数の宗教がどのように関係し合ったり、人々の暮らしに影響を与えたりしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 石油資源が生み出す利益と格差の両面に着目しながら、油田開発の歴史や産油国の組織化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 乾燥した気候・風土が、そこでの生活や産業に影響を与えながら発展を促してきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。 乾燥地域で生まれ、根付いた複数の	・指導事項【自然環境】 乾燥した気候の下、どのような文化が育まれ、人々の生活はどのように変化してきたのか理解させる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 気候・風土が深く関係して、ある地域の生活と文化とその特徴が形成されることについて理解している。 気候・風土と深く関係しながら広まった宗教が、人々の暮らしに根づき、影響を与えていることについて理解している。 豊かな資源によって人々の生活が変化してきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】 他宗教との共存に着目しながら、乾燥地域に発祥した複数の宗教がどのように関係し合ったり、人々の暮らしに影響を与えたりしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 古くから栄えた文明に着目しながら、乾燥地域ならではの生活や産業がどのように成立し、工夫しながら発展してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 石油資源が生み出す利益と格差の両面に着目しながら、油田開発の歴史や産油国の組織化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 乾燥した気候・風土が、そこでの生活や産業に影響を与えながら発展を促してきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。 乾燥地域で生まれ、根付いた複数の宗教の相互関係や、人々が共存して暮らしていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。 豊かな石油資源による人々の生活の変化として、豊かな生活をもたらした側面と、紛争や宗教・民族間対立をもたらした側面について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4

の宗教の相互関係や、人々が共存して暮らしていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。

豊かな石油資源による人々の生活の変化として、豊かな生活をもたらした側面と、紛争や宗教・民族間対立をもたらした側面について、主体的に追究し、課題を見いだす。

事例学習【産業】 経済発展による生活文化の変化 - 東アジア- 【知識及び技能】 多民族国家として中国をとらえたうえで、経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解する。 経済発展に伴って、中国の食生活が変化したことについて理解する。 経済発展をもたらした中国の豊富な人口が、人口政策を経て、人口構成の面で変化してきたことについて理解する。 経済発展に伴う中国の都市化によって、人々の生活が変化してきたことについて理解する。 経済発展に伴って韓国の人々の生活や文化が変化してきたことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 言語や宗教、歴史に着目しながら、中国の経済発展が人々の生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 自然環境の差異や農業に着目しながら、経済発展が中国の食生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	・指導事項 多民族からなる中国において、経済発展は人々の生活にどのような変化をもたらしたのか。言語や宗教、歴史に着目させる。 経済発展は、中国の食生活にどのような変化をもたらしたのか。地域ごとに異なる食文化や農業に着目させる。 経済発展を支える中国の豊富な労働力は、どのように変化してきたのか。人口政策や人口構成に着目させる。 経済発展に伴う中国の都市化は、そこに暮らす人々の生活にどのような変化をもたらしたのか。地域格差に着目させる。 経済発展は、韓国の人々の生活や文化にどのような変化をもたらしたのか。産業の特徴に着目させる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 多民族国家として中国をとらえたうえで、経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 経済発展に伴って、中国の食生活が変化したことについて理解している。 経済発展をもたらした中国の豊富な人口が、人口政策を経て、人口構成の面で変化してきたことについて理解している。 経済発展に伴う中国の都市化によって、人々の生活が変化してきたことについて理解している。 経済発展に伴って韓国の人々の生活や文化が変化してきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】 言語や宗教、歴史に着目しながら、中国の経済発展が人々の生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 自然環境の差異や農業に着目しながら、経済発展が中国の食生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 人口政策や人口構成に着目しながら、経済発展をもたらした中国の豊富な人口がどのように変化してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 都市化が進んだ地域とそうでない地域があることに着目しながら、経済発展がそれぞれの地域で人々の生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	5
事例学習【宗教】 開発の歴史と生活文化の関わり - ラテンアメリカ- 【知識及び技能】 ヨーロッパ人の進出が人々の生活や文化に影響を与えてきたことについて理解する。 先住民やヨーロッパ人による農業開発によって、固有の食文化が育まれてきたことについて理解する。 鉱山開発や鉱工業の発展が人々の生活に影響を与えたことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的背景や宗教、自然環境に着目しながら、伝統的な社会とヨーロッパ人がもたらした生活や文化がどのように融合していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 自然環境や歴史的背景に着目しながら、先住民やヨーロッパ人による農業開発がどのような食文化を育んだのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ブラジルとメキシコの工業化の背景に着目しながら、鉱山開発や鉱工業の発展が人々の生活にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	・指導事項 ヨーロッパ人の進出は、現在の人々の生活や文化にどのような影響を与えているのか。歴史的背景や宗教、自然環境に着目させる。 先住民やヨーロッパ人が行ってきた農業の開発によって、どのような食文化が育まれてきたのか。自然環境や歴史的背景に着目させる。 鉱山の開発から始まった鉱工業は、現在の人々の生活にどのような影響を与えたのか。ブラジルとメキシコの工業化の背景に着目させる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 ヨーロッパ人の進出が人々の生活や文化に影響を与えてきたことについて理解している。 先住民やヨーロッパ人による農業開発によって、固有の食文化が育まれてきたことについて理解している。 鉱山開発や鉱工業の発展が人々の生活に影響を与えたことについて理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的背景や宗教、自然環境に着目しながら、伝統的な社会とヨーロッパ人がもたらした生活や文化がどのように融合していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 自然環境や歴史的背景に着目しながら、先住民やヨーロッパ人による農業開発がどのような食文化を育んだのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ブラジルとメキシコの工業化の背景に着目しながら、鉱山開発や鉱工業の発展が人々の生活にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境を背景に形成されてきた伝統的な生活や文化と、他地域からもたらされた宗教や文化が融合して新たな生活様式ができることについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	3

事例学習【結びつき】 結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 -オセアニア- 【知識及び技能】 各地からの移民が、文化や社会に影響を与えてきたことについて理解する。 ヨーロッパからの移民が食文化の形成に関わってきたことについて理解する。 アジアとの交流の深まりが、人々の生活や国の産業に影響を与えていることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 植民地の歴史や移民の出身国の変化に着目しながら、多文化社会がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 気候や農業に着目しながら、伝統的な生活や食文化と、移民によってもたらされた生活と食文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 文化的交流や経済的交流に着目しながら、アジアとの交流が人々の生活や国の産業にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	・指導事項 各地からの移民は、文化や社会にどのような影響を与えてきたのか。植民地の歴史や移民の出身国の変化に着目させる。 ヨーロッパからの移民は、現地の食文化にどのような影響を与えたのか。気候や農業に着目させる。 深まるアジアとの交流は、人々の生活や国の産業にどのような影響を与えているのか。文化的交流や経済的交流に着目させる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 各地からの移民が、文化や社会に影響を与えてきたことについて理解している。 ヨーロッパからの移民が食文化の形成に関わってきたことについて理解している。 アジアとの交流の深まりが、人々の生活や国の産業に影響を与えていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 植民地の歴史や移民の出身国の変化に着目しながら、多文化社会がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 気候や農業に着目しながら、伝統的な生活や食文化と、移民によってもたらされた生活と食文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 文化的交流や経済的交流に着目しながら、アジアとの交流が人々の生活や国の産業にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多文化主義の政策が社会に与えた影響について、主体的に追究し、課題を見いだしている。 人の移動によって食文化が変化したり、新たな食文化が生じたりすることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1
2部 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 【知識・技能】 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。 【思考・判断・表現】 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 地域によって異なる人口問題に対し、どのような対策ができるか考える。 世界にはどのような食料問題があり、その解決のためにどのような取り組みが必要か考える。 世界にはどのような都市・居住問題があり、どのような取り組みが行われているのか考える。 広がりを増す感染症・衛生問題とどのように向き合う必要があるのか考える。 生活に欠かせない資源・エネルギーをどのように生み出し、利用していくべきか考える。 地球環境問題を解決するためにはどのような取り組みが求められるのか考える。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1
3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 【知識・技能】 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを	・指導事項 日本の自然環境は、世界と比較するとどのような特徴があるのか。 地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要か考える。 気象災害を防ぐために、どのような取り組みが必要か考える。	【知識・技能】 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。				

3 学 期	自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにもみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考・判断・表現】 どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	自然災害に対して、私にはどのように備えるべきか考える。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【思考・判断・表現】 どのような自然災害がどのような場所が生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	12
	2章 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 私たちの生活圏にはどのような地理的課題があるのか。「問い」を探し、事前調査を行うことで、調査テーマを絞り込む。 事前調査の結果から、どのような仮説を立てたらよいか。仮説の検証に向けた調査項目も考えながら準備をし、現地調査に行ってみる。 現地調査の結果から分かったことは何か。他地域の似た事例と比較しながら、調査結果を分析・整理し、仮説の検証をする。 調査結果を地域に還元するにはどのような取り組みが必要。調査結果の発表方法にも着目しながら実践する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： （ 星野 眞澄

使用教科書： （ 数研出版 新 高校の数学 I ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式についての基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 2次関数のグラフ 【知識及び技能】 放物線の形や軸、頂点について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの数量の関係を関数の式で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象の中に関数を見つけようとする。	・指導事項 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	A 2次関数のグラフ 【知識・技能】 放物線の形や軸、頂点について理解している。 【思考・判断・表現】 2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象の中に関数を見つけようとすることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 2次関数の値の変化 【知識及び技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化をグラフから考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の問題を、図をかくいて視覚的に考察する。	・指導事項 2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 2次関数の値の変化 【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の最大・最小の問題を、図をかくいて視覚的に考察できる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 三角比 【知識及び技能】 直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求める。 【思考力、判断力、表現力等】 測量の問題に三角比を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 道路標識やソーラーパネルの具体例を通して、傾斜と三角比との関連に関心をもち、考察する。	・指導事項 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	C 三角比 【知識・技能】 直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 測量の問題に三角比を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道路標識やソーラーパネルの具体例を通して、傾斜と三角比との関連に関心をもち、考察できる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 三角形への応用 【知識及び技能】 正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 測量の問題に正弦定理、余弦定理を活用する。	・指導事項 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	D 三角形への応用 【知識・技能】 正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 測量の問題に正弦定理、余弦定理を活用することができる。	○	○	○	12

	【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理の図形的な意味を考察する。	・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理の図形的な意味を考察できる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E データの分析 【知識及び技能】 階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかく。 【思考力、判断力、表現力等】 どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 データを整理して全体の傾向を考察する。	・指導事項 日常の事象や社会の事象などに関連付けて不等式を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	E データの分析 【知識・技能】 階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 【思考・判断・表現】 どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：（橋本 怜奈）

使用教科書：（数研出版 新編化学基礎）

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質と その変化について理解するとともに、科学的に 探究するために必要な観察、実験などに関する 基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を 養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探 究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 化学と人間生活 【知識及び技能】 化学と人間生活について、それらの 観察、実験などに関する技能を身に 付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物質や元素について、観察、 実験などを通して探究し、科学的に 考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 科学的に探求しようとする態度を養 う。	・指導事項 混合物と純物質の違いや、混合物 を精製する方法について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意 見交換などの協働的学習で活用す る。	【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸 留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマト グラフィーなどの方法をあげることができ る。 【思考・判断・表現】 ・物質を分離する操作がどのようなものであ るかを説明することができる。 ・物質を加熱したり冷却したりしたときの温 度変化を、グラフに表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの混合物が、どのような純物質 から構成されてるかに興味をもつ。 ・日常生活の中の物質の状態変化について興 味をもつ	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	B 物質の構成 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、理解する こと。また、物質と化学結合につい て、それらの観察、実験などに関す る技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察、実験な どを通して探究し、物質の構成にお ける規則性や関係性を見いだして表 現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 科学的に探求しようとする態度を養 う。	・指導事項 原子の構成粒子や周期表について 扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意 見交換などの協働的学習で活用す る。	【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子 の個数・電荷・質量の関係について理解して いる。 【思考・判断・表現】 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周 期律は価電子の数の周期的な変化によること に気づき、価電子の数と化学的性質の関連に ついて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列 について興味をもつ。 ・身のまわりにあるそれぞれの結晶の性質に 興味をもつ。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 物質の変化とその利用 【知識及び技能】 物質質量と化学反応式、化学反応、化 学が拓く世界について、それらの観 察、実験などに関する技能を身に付 けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観 察、実験などを通して探究し、物質 の変化における規則性や関係性を見 いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 科学的に探求しようとする態度を養 う。	・指導事項 物質質量について扱い、化学反応を 化学反応式で表す。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意 見交換などの協働的学習で活用す る。	【知識・技能】 ・原子量・分子量・式量の定義を示すことが できる。 ・中和反応を化学反応式で表すことができ る。 【思考・判断・表現】 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と 物質質量に関する計算ができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用で きる指示薬について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむこ とができる。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		2
	C 物質の変化とその利用 【知識及び技能】 物質質量と化学反応式、化学反応、化 学が拓く世界について、それらの観 察、実験などに関する技能を身に付	・指導事項 化学反応式から量的関係を見いだ すことを扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン	【知識・技能】 ・酸化還元反応の量的関係を計算により求め ることができる。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のは				

3 学 期	けること。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について，観 察，実験などを通して探究し，物質 の変化における規則性や関係性を見 いだして表現すること。	・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意 見交換などの協働的学習で活用す る。	たらきを電子の授受に着目して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も，その もととなる反応式と電子の授受を考えること によって完成させることができる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（ 橋本 怜奈 ）

使用教科書：（ 実教出版 高校生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 生物に共通する特徴。 細胞の構造。 代謝と酵素。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを説明できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原核細胞と真核細胞について、その細胞に含まれる細胞小器官を基に、違いを理解しようとする。 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	○	○	○	14
	B 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 DNAの構造と複製。 遺伝子の発現。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 【思考・判断・表現】 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		2
2 学期	C ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 体内環境の維持。 自律神経系と内分泌系。 免疫。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 【思考・判断・表現】 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解しようとする。 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		2

3 学 期	D 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 植生。 バイオーム。 生態系。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 【思考・判断・表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。 ・生物の多様性を食物網や間接効果と関連付けて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バイオームの構成要素である植物が、その場所の気温や降水量に適応していることを理解しようとする。 ・生態系において、物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用）		教科	保健体育	科目	体育
教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位
対象学年組	第 2 学年	組～	組		
教科担当者	（ 保坂 ）	（ 二階堂 ）			
使用教科書	（ 現代高等保健体育 ）				
教科	保健体育	の目標			

- 【知識及び技能】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育	の目標
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 単元名 体づくり運動						
	【知識及び運動】 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化すること や心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。 ・実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化すること や心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるよう。 ・実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるよ。	○	○	○	12
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ①体力テスト練習・実施 ②縄跳び	【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いを助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。				
1 学期	2 単元名 球技 バレーボール						
	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	○	○	○	12
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	①バレーボール ・サーブ、レシーブの基礎基本	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
	3 単元名 バドミントン						

2 学 期	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バドミントン ・バドミントンの基本ルール ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ等各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおける攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようすること、作戦などについて話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようすること、作戦などについて話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。					
4 単元名 バスケットボール							
2 学 期	【知識及び技能】 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バスケットボール ・基本ルール ・ドリブル、ハンドリング、ゴール下シュート	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようすること、作戦などについて話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようすること、作戦などについて話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。					
5 単元名 体育理論 【運動やスポーツの効果的な学習の仕方】							
2 学 期	【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。ができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。ができる。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ・運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ・スポーツの技術と技能及びその変化 ・運動やスポーツの技能の上達過程 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。					
5 単元名 陸上競技							
3 学 期	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 長距離走 ・インターバル走、レペティショントレーニング、ロングスロウディスタンス等に持久力向上トレーニングについて ・長距離走の呼吸法 ・長距離走の足の運び方や手の振り方といった走り方について	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保することをできるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保することをできる。					

2 学期	3 単元名 卓球					
	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。			
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 卓球 ・卓球の基本ルール ・フォアハンド、ツッツキスマッシュ等各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおける攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。	○	○	○
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。			
						10

高等学校 令和7年度（2学年用）		教科	保健体育	科目	保健
教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～					
教科担当者：（保坂）（二階堂）					
使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）					
教科 保健体育					

- の目標：
- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 保健		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 単元名 生涯の各段階における健康						
	【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できる。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。	【指導項目・内容】 ①思春期と健康 ②結婚生活と健康 ③加齢と健康	【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。				
2 学 期	3 単元名 労働と健康						
	【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理することをできるようにする	【指導項目・内容】 ①労働災害と健康 ②働く人の健康の保持増進	【思考力、判断力、表現力等】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理することをできる。				
4 単元名 環境と健康	【学びに向かう力、人間性等】 ・労働と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。		【学びに向かう力、人間性等】 ・労働と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることをできるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることができる。				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することをできるようにする	【指導項目・内容】 ①環境の汚染と健康 ②環境と健康に関わる対策 ③環境衛生に関わる活動	【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することをできる。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性等】 ・環境と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。		【学びに向かう力、人間性等】 ・環境と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
2 学 期	5 単元名 食品と健康						
	【知識及び技能】 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解できるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解できる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることをできるよう	【指導項目・内容】 ①食品の安全性 ②食品英紙絵に関わる活動	【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることをできる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
3 学 期	5 単元名 様々な保健活動や社会的対策						
	【知識及び技能】 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することをできるようにする。	【指導項目・内容】 ①様々な保健活動や社会的対策	【思考力、判断力、表現力等】 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な保健活動や社会的対策について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な保健活動や社会的対策について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる	【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な保健活動や社会的対策について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる				
3 学 期	5 単元名 健康に関する環境づくりと社会参加						
	【知識及び技能】 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることをできるようにする。	【指導項目・内容】 ①健康に関する環境づくりと社会参加	【思考力、判断力、表現力等】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることをできる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・健康に関する環境づくりについて自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	【学びに向かう力、人間性等】 ・健康に関する環境づくりについて自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・健康に関する環境づくりについて自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ
教 科： 外国語（英語） 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（ 1組：清水俊秀

使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅠ New Edition ）

- 教科 外国語（英語） の目標：
- 【知識及び技能】基礎基本的知識である英単語と英文法の知識を体系的に理解するとともに、アウトプットを行い英文として表現することで知識の定着を図る。
 - 【思考力、判断力、表現力等】例文を元にして、学習した文法を活用しながら独自の英文を作成させる力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】英語話者の考え方や文化を認識して、積極的に英語を活用して表現しようとする態度、英文を読んだり、聞いたりすることで、そのことについて自ら問題解決しようと挑戦する態度及び創造性の基礎を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【正確な聞き取り】 ・英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取ること。 【適切な聞き取り】 ・絵を見なくても、聞いた単語の意味を適切に理解できること。	【正確な発話】 ・身の回りにあるものの名前を、アクセントに留意して英語で正確に発音できること。 【適切な発話】 ・絵が示すものを、聞き手が理解できるように適切に発音できること。	【言語活動への取り組み】 ・基本的な英語の単語に積極的に慣れようとしていること。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・必要に応じて辞書などを活用し、学んだ単語を積極的に発話していること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	A 単元 L.1 Kerama Blue 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について考える。	・指導事項 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	A 単元 L.1 Kerama Blue 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになっていく。 【学びに向かう力、人間性等】 慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について議論できている。	○	○	○	5
	B 単元 L.2 Cool Japan 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の魅力を、海外の人からの視点を通して知る。	・指導事項 疑問文では、疑問詞を用いる場合、用いない場合でその答え方が違うことに留意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	B 単元 L.2 Cool Japan 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっていく。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の魅力を、海外の人からの視点を通して知ることができている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	C 単元 L.3 Mexican Dishes 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知る。	・指導事項 一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。 また、助動詞の意味の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	C 単元 L.3 Mexican Dishes 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっていく。 【学びに向かう力、人間性等】 世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知り、それについて自分の考えを表現できている。	○	○	○	9
	D 単元 L.4 The Olympics 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知る。	・指導事項 I think that ～ の構文を使って自分の考えを言えるようにする。 また、動詞のあとに語順に注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	D 単元 L.4 The Olympics 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっていく。 【学びに向かう力、人間性等】 近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知り、自身の意見をまとめ、発表することができている。	○	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	E 単元 L.6 Toothbrushing in Edo 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知る。	・指導事項 日本文化を英語で紹介させる。また、動詞と動名詞の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	E 単元 L.6 Toothbrushing in Edo 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知り、自身の意見をまとめ、発表することができている。	○	○	○	6
	F 単元 L.7 Machu Picchu 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。	・指導事項 動詞の過去分詞形に慣れさせる。 また現在、過去、現在完了を使い分けられるようにする。 ・教材	○	○		○	○	F 単元 L.7 Machu Picchu 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっていく。	○	○	○	6

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

外国語（英語） 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語（英語）

科目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（ 1組：清水俊秀

使用教科書：（ VISTA Logic and ExpressionⅠ New Edition

）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】基礎基本の知識である英単語と英文法の知識を体系的に理解するとともに、アウトプットを行い英文として表現することで知識の定着を図る。

【思考力、判断力、表現力等】例文を元にして、学習した文法を活用しながら独自の英文を作成させる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】英語話者の考え方や文化を認識して、積極的に英語を活用して表現しようとする態度、英文を読んだり、聞いたりすることで、そのことについて自ら問題解決しようと挑戦する態度及び創造性の基礎を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【正確な聞き取り】 ・ 英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取る。 【適切な聞き取り】 ・ 絵を見なくても、聞いた単語の意味を適切に理解できること。	【正確な発話】 ・ 身の回りにあるものの名前を、アクセントに留意して英語で正確に発音できること。 【適切な発話】 ・ 絵が示すものを、聞き手が理解できるように適切に発音できること。	【言語活動への取り組み】 ・ 基本的な英語の単語に積極的に慣れようとしていること。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ 必要に応じて辞書などを活用し、学んだ単語を積極的に発話していること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	1.1. Boulderering? How nice! ●自己紹介をするために「クラブ活動」や「高校でしてみたいこと」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝えることができる。 1.2. Famous People, 1.3. Aquarium Adventure ●相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	現在形（be動詞 / 一般動詞）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 過去形（be動詞 / 一般動詞）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになっている。	○	○	○	5
	1.3. Aquarium Adventure ●SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	現在進行形および過去進行形の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「やり取り」に役立つ表現などを参考にして、対話をする。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		○		○	○		1
	1.4. My Summer Plan ●夏休み予定を伝え合うために、「予定」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●夏休みの予定を伝え合うため 1.5. UFO Sightings ●「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	未来表現（will / be going to）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 現在完了形（経験 / 継続）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	9
	1.6. Homestay ●英語でEmailを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●英語でEmailを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	現在完了形（完了 / 現在完了進行形）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 「日常的な話題」や「社会的な話題」について、Let's Tryの手順に沿って書いてまとめる。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	9
	定期考査		○	○		○		○	○		1
2 学 期	1.7. Which is faster? ●いろいろなものを比較するために必要な「比較」の表現を理解して、考えを深めることができる。 1.8. Great Inventions ●身の回りにあるすぐれた「発明品」を紹介するために、「発明」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	比較（比較級 / 最上級 / as as ~）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 助動詞（can / may）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	1.9. Save the Earth ●「環境問題」についてのホームページを作成するために、「環境問題」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●環境問題についてのホームページを作成するために、「環境問題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して	助動詞（must / have to / should）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 「道案内」の表現に関するその他の表現について、理解を深める。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		○		○	○		1
	1.10. Masterpiece ●さまざまな「芸術作品」について話すために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 1.11. My Future Job ●「将来になりたい職業」について発表するために、「職業」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	受動態の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 不定詞（名詞的用法）および動名詞の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	1.12. World Heritage ●「将来になりたい職業」について発表するために、「職業」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●「将来になりたい職業」について発表するために、「職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝	不定詞（副詞的用法 / 形容詞的用法）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。 「日常的な話題」や「社会的な話題」について、ディスカッションでよく使われる表現を効果的に使	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6

[illegible]

情報 科目 情報 I

單位數： 2 單位

教科 情報 の目標 :

科目 情報Ⅰ の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア 【知識及び技能】 情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案をみずから評価し改善しようとする。	・何気なく使っている言葉である「情報」とは何かを理解させる。 ・様々なメディアの特徴や、情報の適切な表現形式について理解させる。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けさせる。 ・問題解決の目的や状況に応じて、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えさせる。	【知識及び技能】 情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案をみずから評価し改善しようとしている。	○	○	○	4
	第2章 情報社会における法とセキュリティ 【知識及び技能】 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己調整しながら、解決する過程や解決案をみずから評価し改善しようとする。	・情報社会でよりよく生きるために、情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラルにもとづいた行動について理解させる。 ・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。 ・著作権などの知的財産権の保護の必要性とともに、そのために必要な法規及び個人の責任について理解させる。 ・情報社会において個人の果たす役割や責任について考えさせる。	【知識及び技能】 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 自己調整しながら、解決する過程や解決案をみずから評価し改善しようとしている。	○	○	○	8
	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響 【知識及び技能】 情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする。	・人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解させる。 ・情報格差、インターネット依存症、インターネット上のトラブルなどを学び、情報技術の適切な活用について理解させる。 ・情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えさせる。	【知識及び技能】 情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	3
	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷もふまえて科学的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的にとらえ、それらを目的や状況に応じて適切に選択させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする。	・情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解させる。 ・情報のデジタル化の基礎的な知識と技術として、ビットの概念、2進法による表現、文字、音、画像、動画のデジタル化の原理と表現方法を理解させる。 ・デジタル情報のデータ圧縮の原理と具体例について理解させる。	【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷もふまえて科学的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的にとらえ、それらを目的や状況に応じて適切に選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。	○	○	○	6

2 学 期	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴 【知識及び技能】 情報デザインが人や社会にはたさせる役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインを効果的に活用し、情報社会に主体的に参画しようとする。	・古代からの技術的な進歩やコンピュータを使った通信の歴史を概観し、コミュニケーション手段の発展について理解させる。 ・情報伝達のメディアの性質を科学的に理解させるとともに、情報をわかりやすく表現し効率的に伝達するために、適切な情報機器やメディアを選択し利用する方法を身に付けさせる。	【知識及び技能】 情報デザインが人や社会にはたしている役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインを効果的に活用し、情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	3
	第3章 情報デザイン 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとさせる。	・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解させる。 ・情報を抽象化・構造化・可視化する方法を身に付けさせる。 ・情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切かつ効果的な情報デザインを考えさせるとともに、それらを表現し、評価し改善する活動を行わせる。 ・ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について、身近な具体例を挙げながら理解させる。	【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。	○	○	○	3
	第4章 プレゼンテーション 【知識・技能】 ・プレゼンテーションに用いる機器に対する知識を身につけ、その機器を活用できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じてプレゼンテーションに用いる機器を適切に選択させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションの方法を身につけようとする。	・コミュニケーション手段の1つとして用いられているプレゼンテーションの基本、重要性、手法を理解させるとともに、情報デザインの考え方や方法を表現する技能を身に付けさせる。 ・効果的なコミュニケーションを行うために、プレゼンテーションの注意点、プレゼンテーションソフトウェアの上手な使い方を身に付けさせるとともに、プレゼンテーションを実施し、評価し改善する活動を行わせる。	【知識・技能】 ・プレゼンテーションに用いる機器に対する知識を身につけ、その機器を活用できる。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じてプレゼンテーションに用いる機器を適切に選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションの方法を身につけようとしている。	○	○	○	4
	第3編 コンピュータとプログラミング 第1章 コンピュータのしくみ 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考えてさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータのしくみを知り、活用しようとする。	・コンピュータや外部装置の基本的なしくみや特徴を理解させる。 ・OSやアプリケーションプログラムなどのソフトウェアの基本的な機能を理解させる。 ・コンピュータの内部における情報の表現方法と計算に関する限界について理解させる。 ・コンピュータで扱われる数や情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考えさせる。	【知識及び技能】 コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータのしくみを知り、活用しようとしている。 ・コンピュータのしくみを知り、活用しようとしている。	○	○	○	4
	第2章 プログラミング 【知識・技能】 問題解決の手順・解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解させる。 【思考・判断・表現】 探索法のアルゴリズムを評価し、適切な探索法を判断させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズムを、ことばやフローチャートで表そうとさせる。	・問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を身に付けさせる。 ・プログラミング言語の実行のしくみやプログラミングの基本を理解させるとともに、プログラミングによってコンピュータを活用する方法を身に付けさせる。 ・アルゴリズムを考え、プログラミングを行う過程において、それらを評価し改善していく力を身に付けさせる。	【知識・技能】 問題解決の手順・解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 探索法のアルゴリズムを評価し、適切な探索法を判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズムを、ことばやフローチャートで表そうとしている。	○	○	○	6
	第3章 モデル化とシミュレーション 【知識・技能】 モデル化の有効性を理解させる。 【思考・判断・表現】 問題解決において、モデル化するための工夫について考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実の事象をモデル化し問題解決に活用しようとする。	・モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解させるとともに、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法や、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解させる。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを行い、その結果をふまえて問題を適切に解決する方法を考えさせる。	【知識・技能】 モデル化の有効性を理解している。 【思考・判断・表現】 問題解決において、モデル化するための工夫について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実の事象をモデル化し問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	4

3 学 期	第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 第1章 ネットワークのしくみ 【知識・技能】 LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身につけさせる。 【思考・判断・表現】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその利便性について考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信を効果的に活用しようとする。	・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルの役割について理解させる。 ・通信の信頼性と情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解させる。 ・目的や状況に応じて, 情報通信ネットワークの方式やプロトコルを選択したり, 情報セキュリティを確保したりする方法について考えさせる。	【知識・技能】 LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその利便性について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信を効果的に活用しようとしている。	○	○	○	7
	第2章 データベース 【知識・技能】 データベースの特徴や機能について理解させる。 【思考・判断・表現】 データベースのはたらきや必要性について考察し, その結果を適切に表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データベースの機能やしくみについて理解しようとする。	・データベースの概念及びデータベース管理システムの機能やデータの損失を防ぐしくみについて理解させる。 ・データベースが活用されている情報システムについて, それらがサービスを提供するしくみや特徴, 社会生活に果たす役割と影響を理解させるとともに, サービスの効果的な活用について考えさせる。	【知識・技能】 データベースの特徴や機能について理解している。 【思考・判断・表現】 データベースのはたらきや必要性について考察し, その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 データベースの機能やしくみについて理解しようとしている。	○	○	○	3
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 農業 科目 農業と情報
教 科： 農業 科 目： 農業と情報 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：千葉 達弥

使用教科書：（ 農業と情報 「実教出版」 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢
献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 農業と の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。農業に関するついて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	オリエンテーション 第1章 私たちの生活と農業の情報化 1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア	・コンピュータ教室のルールを理解する。 ・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けるとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	・コンピュータ使用のアカウントとパスワードを確認のうえ、起動と終了方法理解する。 ・データと情報、意思決定の過程と情報社会の発展について理解する。	○	○	○	14
	第1章 私たちの生活と農業の情報化 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報	・農業を支える情報とは何か。情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	・メディアリテラシーを身に付ける必要性を理解する。 ・情報化社会の光と影について考えるとともに、SNSの使い方や、個人情報の取り扱い、知的財産権の保護、モラルについて考える。	○	○	○	16
	定期考査		ワークシート・コンピュータ演習・ノート	○	○	○	1
2 学 期	第1章 私たちの生活と農業の情報化 4 農業を支える情報 第2章 社会を支えるコンピュータ 1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現	農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術を理解する。 ・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付けるよう理解する。	・農業の情報化の発展とデータ収集の大切さについて理解する。	○	○	○	16
			ワークシート・コンピュータ演習・ノート	○	○	○	
	第2章 社会を支えるコンピュータ	・演習を通して、実際の情報処理の	・基本的なHTMLのタグを理解し、簡単なWeb				

3 学 期	3 情報通信ネットワーク 4 インターネットのしくみ 5 情報セキュリティ 第3章 コミュニケーションと情報デザイン 1 情報表現のためのソフトウェア	過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。	ページを作成することができる。 ・問題解決と情報利用の方法、アイデアなどを引き出す思考技術について理解する。 ・情報を活用するソフトウェアについて理解する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 2 文書の作成と表現 3 データの集計と視覚化 4 データベースシステムとオープンデータ 5 画像・図形処理ソフトウェアの利用 6 プレゼンテーション	・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	・文章作成ソフトウェアを利用して文書を作成できる。 ・表計算ソフトウェアを利用してデータの処理とグラフ作成等の視覚化ができる。 ・データベースソフトウェアの特徴と機能を理解し、データを活用することができる。 ・画像図形処理・動画編集等のソフトウェアを利用して基本的な画像処理・動画編集を行うことができる。 ・プレゼンテーションソフトウェアを利用して基本的なプレゼンテーションを行うことができる。	○	○	○	15
	定期考査		ワークシート・コンピュータ演習・ノート	○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2 学年用）

農業 科目 食品製造

教科 科： 農業 科 目： 食品製造 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者： 関根 正

使用教科書：（ 食品製造 実教出版 ）

教科 農業	の目標：
【知識及び技能】	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品製造	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造について、体系・系統的に理解し、関連する知識・技術を身に付ける	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける	生産性や品質の向上が経営発展へつながるみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 1 章 食品製造の意義と動向 【知識及び技能】 ・食品の持つ様々な機能を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品生活の変貌から、食品製造のニーズが変更している理由について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品産業の意義を理解し、食品産業と環境について問題解決方法を考えることができる。	(指導事項) ・食品化学の内容を関連づけて指導する。 (教材) ・教科書・実習プリント ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】 食品製造の意義や食品産業の現状を理解し、食品産業が担っている役割について理解している。 【思考・判断・表現】 食品産業の課題解決を目指す思考を深め、習得した知識や技術を活用して、課題解決方法を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品産業が担う社会的役割について探究することができる。	○	○	○	3
	B 2 章 身近な食品の科学 【知識及び技能】 ・栄養素の種類と働きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各栄養素が食品製造に対してどのような関わりがあるのかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な食品に関する疑問について探究することができる。	(指導事項) ・実験(食品化学分野)を関連づけて授業展開をする (教材) ・教科書・実習プリント 等 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】 栄養素の種類と人体への働きについて理解している。 【思考・判断・表現】 栄養素の働きについて理解し、生活習慣病などの課題を解決するための商品開発や栄養素などの影響に対して考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な食品で活用されている化学反応に対して探究することができる。	○	○	○	8
	C 3 章 食品の変質と貯蔵 【知識及び技能】 食品を変質させる要因について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の変質を防ぐための保存方法について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の変質について興味をもち、市販されている加工品の貯蔵方法について探究することができる	(指導事項) ・実験(食品化学分野)を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 食品を変質させる要因について理解している 【思考・判断・表現】 様々な貯蔵法を理解し、加工品に対して適切な貯蔵方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の変質について興味をもち、市販されている加工品の貯蔵方法について探究することができる				10
	C 6 章 農産物加工 穀類加工 【知識及び技能】 穀類の種類と特徴を理解させるとともに、小麦が加工食品の原料になるまでのに、どのような加工がされているのかを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 穀類加工品にどのような化学反応を活用しているかを説明することができる。 【学びに向かう力・人間性】 穀類を活用して製造できる食品製造品の製造方法について学ぼうとする意欲を身に付ける	(指導事項) ・実験(食品化学分野)を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 農産物加工食品の製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 農産物を原料した加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【学びに向かう力・人間性】 加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理・倫理観に基づいた食品製造を行う意欲。態度を身に付けている。	○	○	○	8
	D 4 章 食品加工と食品衛生 【知識及び技能】 食品衛生が食品の安全や品質を確保していることを理解している。 食中毒の定義を理解し、様々な食中毒の特徴を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品衛生から得た基礎的知識をもとに、安全な加工食品を製造する工程を検証することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品製造に必須な衛生管理に関して興味・関心をもち、安全な食品を提供できる実践的な態度を身につけている。	(指導事項) ・実験(食品化学分野)を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 ・食品衛生が食品安全や食品の品質を確保していることを理解している。 ・食中毒の定義を理解し、各食中毒の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 食品衛生から得た基礎的知識をもとに、製造工程がHACCPなどの基準に当てはめて適切に行えているかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品製造に対して、安全に食品を提供できる実習態度を身につけている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D6 章農産物加工 穀類加工 【知識及び技能】 穀類の種類と特徴を理解させるとともに、小麦が加工食品の原料になるまでのに、どのような加工がされているのかを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 穀類加工品にどのような化学反応を活用しているかを説明することができる。 【学びに向かう力・人間性】 穀類を活用して製造できる食品製造品の製造方法について学ぼうとする意欲を身に付ける	(指導事項) ・実験（食品化学分野）を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 農産物加工食品の製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 農産物を原料した加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【学びに向かう力・人間性】 加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理・倫理観に基づいた食品製造を行う意欲。態度を身に付けている。	○	○	○	17
	E6 章農産物加工 野菜加工 【知識及び技能】 野菜加工の特徴を理解させるとともに、野菜が加工食品の原料になるまでのに、どのような加工がされているのかを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 穀類加工品にどのような化学反応を活用しているかを説明することができる。 【学びに向かう力・人間性】 穀類を活用して製造できる食品製造品の製造方法について学ぼうとする意欲を身に付ける	(指導事項) ・実験（食品化学分野）を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 農産物加工食品の製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 農産物を原料した加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【学びに向かう力・人間性】 加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理・倫理観に基づいた食品製造を行う意欲。態度を身に付けている。	○	○	○	17
3 学 期	F7 章 畜産物加工 【知識及び技能】 加工食品の原料として特徴と種類を理解させる。 【思考力・判断力・表現力】 マヨネーズ製造における製造原理を説明できる 【学びに向かう力・人間性】 卵を活用して製造できる食品製造品の製造方法について学ぼうとする意欲を身に付ける	(指導事項) ・実験（食品化学分野）を関連づけて授業展開する。 (教材) ・教科書・プリント ・端末の活用	【知識・技能】 畜産加工品の製造過程と原理を知識として習得し、食品製造品に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 畜産物を原料した加工食品の製造方法を踏まえ、地域の畜産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【学びに向かう力・人間性】 加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理・倫理観に基づいた食品製造を行う意欲。態度を身に付けている。	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 農業と環境

教 科： 農業

科 目： 農業と環境

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：関根 正

使用教科書：（ 農業と環境 「実教出版」 ）

教科 農業 の目標： 農業の各分野を学び、理解を深めることで社会を構築する職業人を育成する

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業やの農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的に

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
1 学期	A 4章栽培・飼育と環境のプロ ジェクト（キュウリ） 【知識及び技能】 キュウリの成長と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 キュウリの育成と生産に関する課題を発見し、様々な観点から解決策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 キュウリの成長や生産について自ら学び、活用しようとしている。	・指導事項 2つの栽培区分を栽培すること で、品種による生育過程の違いを学習させる。また、以前に学習したプロジェクトの手順を関連付けて学習を取り組ませる。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物（キュウリ） パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 実習で収集したデータをまとめさせる。	【知識・技能】 キュウリの概要や栽培特性を理解し、栽培管理について、適切に行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 キュウリの栽培における課題に対して、様々な観点から解決方法を思考し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 キュウリの栽培方法や生育特性に対して興味を持ち、様々な内容を学ぼうとしている。	○	○	○	13
	B 2章私たちの暮らしと農業 【知識及び技能】 人間と生物、環境の関係性を理解し、農業と環境。暮らしの関係について理解をさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 食と農業、環境と農業、生活に関する資料や情報を収集し、読み取ることや活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食と農業の現状を理解し、課題に対して関心を持ち、探究しようとする態度を身に付けさせる。	・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物 パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 実習で収集したデータをまとめさせる。	【知識・技能】 食と農業、環境について関係する基礎的な知識を身に付け、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 食と農業に関係する諸課題について解決策を考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食と農業の現状を理解し、課題に対して関心を持ち、探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
	3章栽培と飼育の基礎 【知識及び技能】 作物の成長の仕組みについて興味を持たせる。 【思考力・判断力・表現力】 作物の成長過程に必要な資材や反応について理解し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 作物の成長に対して興味を持ち、探究する態度を身に付けさせる。	・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物 パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 実習で収集したデータをまとめさせる。	【知識・技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身に付け、技術の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の生育の過程に関する基礎的な知識を身に付け、様々な反応の管理について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物の成長に対して興味を持ち、探究する態度を身に付けている。	○	○	○	6
	定期考査		ワークシート・農業実習・ノート	○	○		1
2 学期	D 4章栽培・飼育と環境のプロ ジェクト（ハクサイ） 【知識及び技能】 ハクサイの育成と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ハクサイの成長と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ハクサイの成長や生産について自ら学び、活用しようとしている。	・指導事項 地域の農業と環境の実態などの具体例と関連づけて取り扱う。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 調べ学習における検索ツールとする	【知識・技能】 ハクサイの概要や栽培特性を理解し、栽培管理について、適切に行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 ハクサイの栽培における課題に対して、様々な観点から解決方法を思考し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハクサイの栽培方法や生育特性に対して興味をもち、学ぼうとしている。	○	○	○	14
	D 4章栽培・飼育と環境のプロ ジェクト（キャベツ） 【知識及び技能】 キャベツの育成と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 キャベツの成長と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 キャベツの成長や生産について自ら学び、活用しようとしている。	・指導事項 地域の農業と環境の実態などの具体例と関連づけて取り扱う。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 調べ学習における検索ツールとする	【知識・技能】 キャベツの概要や栽培特性を理解し、栽培管理について、適切に行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 キャベツの栽培における課題に対して、様々な観点から解決方法を思考し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 キャベツの栽培方法や生育特性に対して興味をもち、学ぼうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	3章栽培と飼育の基礎（家畜） 【知識及び技能】 家畜の成長の仕組みについて興味を持たせる。 【思考力・判断力・表現力】 家畜の成長過程に必要な資材や反応について理解し、適切に表現す	・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物 パソコン ・一人1台端末の活用 課題提示や授業連絡に活用する。 実習で収集したデータをまとめさ	【知識・技能】 家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身に付け、技術の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 家畜の生育の過程に関する基礎的な知識を身に付け、様々な反応の管理について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】				

3 学 期	ることができる。 【学びに向かう力・人間性など】 家畜の成長に対して興味を持ち、 探究する態度を身に付けさせる	せる。	家畜の成長に対して興味を持ち、探究する態度を身に付けている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：播正 圭史

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 課題の設定 【知識及び技能】 探究の基本的な進め方について理解させるとともに、さまざまな発想法を用いてアイデアを出したり、思考ツールを活用してアイデアを組み合わせたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 発想の方法や思考ツールを使い分けることができるようにする。また、自分と関わりのある課題を設定できるようにするとともに、成果を仲間に表示できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に作業に取り組んだり、仲間とコミュニケーションをとったりできるようにする。	・指導事項 1 探究の進め方 2 学校の課題・地域の課題・日本の課題・世界の課題 3 発想の方法 4 思考ツールで見える化しよう 5 自分と関わりのある分野で課題を設定する 6 課題を具体化する 7 仮説を立てる 8 先行研究を調査する 9 課題の変更・修正 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 探究の基本的な進め方について理解できた。また、さまざまな発想法を用いてアイデアを出したり、思考ツールを活用してアイデアを組み合わせたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 発想の方法や思考ツールを使い分けることができる。また、自分と関わりのある課題を設定できるとともに、成果を仲間に表示できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に作業に取り組むとともに、仲間とコミュニケーションをとることができる。	○	○	○	7
	B 情報の収集 【知識及び技能】 課題に合った情報収集の方法を理解するとともに、資料の読解・活用ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 課題に合った情報収集の方法を選ぶことができるようにする。また、体験活動から得られた成果と課題を整理し、表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組ませるとともに、仲間とコミュニケーションをとらせる。	・指導事項 10 課題に合った情報収集の方法を考えよう 11 探究ノートの作り方 12 図書館の使い方 13 インターネットで情報収集 14 統計資料を活用しよう 15 さまざまな分野の情報源 16 体験活動をする 17 体験から得られた成果と課題を整理する 18 実験・観察をする 19 実験観察ノートへの記録方法 20 インタビューをしよう 21 インタビューの申し込み 22 インタビューのポイント 23 アンケートの取り方 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 課題に合った情報収集の方法を理解するとともに、資料の読解・活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題に合った情報収集の方法を選ぶことができる。また、体験活動から得られた成果と課題を整理し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組むとともに、仲間とコミュニケーションをとっている。	○	○	○	7
	C 整理・分析 【知識及び技能】 集めた情報の整理の仕方について理解させるとともに、その情報をもとに、図や表、統計データを作成できるようにする。	・指導事項 24 集めた情報を整理する 25 調べたことを図や表を表す 26 本の内容を要約する 27 定量・定性の違いを知る 28 統計データをつくってみよう 29 資料の内容を分析する	【知識及び技能】 集めた情報の整理の仕方について理解している。また、その情報をもとに、図や表、統計データを作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 集めた情報を効果的に整理したり、効果的な図				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 集めた情報を効果的に整理したり、効果的な図や表を選ぶことができるようにする。また、グループディスカッションで自身の考えを表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組ませるとともに、仲間とコミュニケーションをとらせる。	30 グループディスカッション 31 ほかの人の発言に対して意見をいう ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	や表を選ぶことができる。また、グループディスカッションで自身の考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組むとともに、仲間とコミュニケーションをとっている。	○	○	○	7
	D まとめ・表現 【知識及び技能】 レポートや論文の構成について正しく理解させる。また、自身が調べたことについて、発表資料（スライド）を作成できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な発表資料の見せ方を選択・表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組ませるとともに、仲間とコミュニケーションをとらせる。	・指導事項 32 課題解決策を実践してみよう 33 レポートの構成を考える 34 レポートの書き方 35 引用・参考文献のルール 36 論文の書き方 37 英作文にチャレンジ 38 発表の仕方 39 発表資料の作成方法 40 スライド発表のポイント 41 取り組みの振り返り 42 次のプロセスに向けて 43 学びの振り返り ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 レポートや論文の構成について正しく理解している。また、自身が調べたことについて、発表資料（スライド）を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な発表資料の見せ方を選択・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に教材に取り組むとともに、仲間とコミュニケーションをとっている。	○	○	○	7
3 学 期	E 探究実践 【知識及び技能】 一年間学んできた探究の方法について理解させるとともに、図や表などを効果的に活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味・関心をふまえて探究課題を選択するとともに、効果的な図や表、表現方法を選択し、表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に探究課題に取り組ませる。	・指導事項 ①地域探究 ②グローバル探究 ③SDGs探究 ④防災探究 ⑤自然科学探究 から一つテーマを選んで探究し、発表する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 一年間学んできた探究の方法について理解している。図や表などを効果的に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味・関心をふまえて探究課題を選択できる。また、効果的な図や表、表現方法を選択し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に探究課題に取り組んでいる。	○	○	○	7
				○	○	○	合計
							35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：千葉 達弥

使用教科書：（「人間と社会」）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
里山民家オリエンテーション 【知識及び技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 里山民家オリエンテーション ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力がついている。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	5
スマートフォン時代のコミュニケーション 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 スマートフォン時代のコミュニケーションについて学び、「遵法精神、公德心」の道徳的価値を理解し、自己を管理するための資質・能力、態度を育成する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1

1 学 期	荒おこし 【知識及び技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 荒おこし ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力がついている。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	5
	学ぶことの意義 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実には照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 学ぶことの意義について学び、「真理の探究」の道徳的価値を理解し、人生を通じて主体的に学び続けようとする資質・能力、態度を育成する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実には照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1
	田植え 【知識及び技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 田植え ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力がついている。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	5

人間関係を築く 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 人間関係を築くことについて学び、「相互理解」「思いやり」の道徳的価値を理解し、よりよい人間関係を築くための資質・能力、態度を育成する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1
外来種の引き抜き 【知識及び技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 外来種の引き抜き ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	5
支え合う社会 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 支え合う社会について学び、「公共の精神」の道徳的価値を理解し、主体的に課題を解決する資質・能力、態度を育成する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1

	Catch Your Dream 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 自分自身の価値観・得意・好きを見つめ、将来の社会人像を思い描かせる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	2
	稲刈り 【知識及び技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項【自然環境】 稲刈り ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 里山民家での活動を通して、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 里山民家での活動を通して、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 里山民家での演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	5
2 学 期	自然との関わり 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 自然との関わり ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実には、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1

3 学 期	Economics for Success	・指導事項 将来生きて行くうえで必要なお金と収入、社会保障、働き方の関係について理解し、自身の社会人像を考える。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	2
	Mobile Finance Park	・指導事項 将来生きて行くうえで様々なお金が必要になることを理解し、計画的な消費活動が必要であることを実感する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	2
	キャリア教育出前授業 「容器が社会を変える？未来をつくる力」 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 食品ロスを解決する容器を題材に、情報を多面的・多角的に整理・分析し、仲間と話し合って結論を導く。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	2

	一年間の振り返り 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・指導事項 人間と社会の一年間の活動を振り返り、自己の成長をまとめさせる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力が付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。	○	○	○	1
							合計 39